

令和3年度に向けた農林水産部の施策の基本方針

I ニューノーマル時代におけるブランド戦略

1 スマートライフに即した新たな販売戦略

- ・TurnTableを核とした「首都圏飲食店ネットワーク」の活用による販路拡大
- ・民間事業者の知恵と工夫を活用した「ブランド畜産物」の販路開拓
- ・エアカーゴ活用などによる「新物流ブランド」の創出
- ・大手ECサイトでの効果的な販売に向けた生産者へのコンサルティング
- ・新たな需要を捉えた「売れる6次産業化商品」づくり



2 コロナ禍における輸出戦略

- ・経済活動が早期再開した国や地域の巣ごもり需要に対応する生産体制（品質・コスト・ロット）の整備
- ・リモートでのプロモーション、オンライン商談など輸出事業者の遠隔対応支援

II 「とくしま回帰」の促進と農山漁村の魅力向上

1 「とくしま回帰」を加速する体制づくり

- ・技術継承の推進による移住就農希望者へのリスタート支援
- ・田園回帰の機運を捉えた中山間地域の「移住者受入体制」の整備
- ・学生フィールドワークなど「かんきつテラス徳島」を活用した新たな交流の創出



都市農村交流

2 安心して暮らせる農山漁村の魅力づくり

- ・都道府県立初となる「木のおもちゃ美術館」の開館
- ・スマートライフを実践する農林漁家民宿の受入体制整備
- ・鳥獣被害防止に向けた捕獲強化とジビエとしての利活用推進
- ・「事前復興・再度災害防止」による国土強靱化の加速
- ・森林環境譲与税の活用やカーボンオフセットによる森林吸収源対策

III スマート農林水産業の実装と人材育成

1 未来を見据えた「新技術」の導入加速

- ・ローカル5Gエリアにおける「遠隔栽培指導システム」の実装
- ・森林GISや航空レーザ計測など「リモートセンシング技術」による森林管理
- ・「匠の技」を共有できるAIを活用した「漁海況予測システム」の構築
- ・気候変動に対応する新品種・新技術の導入促進



環境制御型
トマトハウス

2 即戦力となるスマート人材の育成と多様な担い手確保

- ・「施設園芸アカデミー」による環境制御技術を駆使するエキスパート人材の育成
- ・農業大学校等における現場実習のデジタル化やスマート技術研修の充実
- ・「農林水産未来人材スクール」による人材育成とサポート強化
- ・生産者と障がい者をつなぐ「きめ細やかなマッチング」による農福連携

IV 業と雇用を守る強い農林水産業づくり

1 コロナ禍の変化に対応した生産・販売力強化

- ・内食需要をターゲットとした「産地連携」による主要品目の生産強化
- ・災害時に備えた木造仮設住宅「板倉構法」の供給体制づくり
- ・新工場稼働に伴う生乳増産に向けた「乳牛増頭体制」の整備
- ・コロナ禍で影響を受けた一次産品の「需要回復キャンペーン」の実施



板倉構法
仮設住宅

2 時代に即した安全・安心な農林水産物の提供

- ・GAPや有機農産物などの「エシカル農産物」の普及促進
- ・「畜産GAP」の取得促進による「とくしま三ツ星ビーフ」の生産拡大
- ・豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜防疫対策の徹底に向けた家畜保健衛生所の機能強化

アフターコロナを見据えた「力強い農林水産業」の構築・「地方への回帰」の推進